

第60回（令和5年度） 九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会要項

- 1 参加校 別紙参照
- 2 主催 （主管校）佐世保工業高等専門学校
（担当校）北九州工業高等専門学校
（担当校）久留米工業高等専門学校
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
- 3 期間 令和5年7月 1日（土）・2日（日）・10日（月）・11日（火）・14日（金）
15日（土）・16日（日）・17日（月）・21日（金）・22日（土）
23日（日）・24日（月）
令和5年11月 11日（土）・12日（日）・14日（火）

4 競技種目・競技会場及び試合開始時刻 競技種目別実施要項参照

5 開会式及び閉会式

ア 開会式

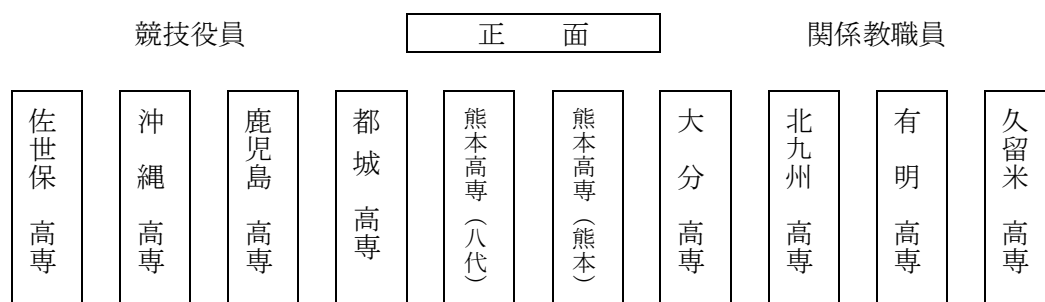
- 1 役員選手集合
- 2 開式
- 3 開会宣言
- 4 国旗掲揚
- 5 大会旗掲揚
- 6 優勝杯返還及びレプリカ授与
- 7 大会会長挨拶
- 8 審判長注意
- 9 選手宣誓

10 閉式

イ 閉会式

- 1 役員選手集合
- 2 開式
- 3 成績発表
- 4 表彰
- 5 審判長講評
- 6 大会会長挨拶
- 7 国旗、大会旗降納
- 8 閉会宣言
- 9 閉式

ウ 開会式及び閉会式配列図



- (注)
- 1 正面に向かって、右側から構成校順に整列する。
ただし、担当校は左端に整列する。
 - 2 各会場とも開会式は、予定時刻30分前に指定された場所に集合すること。
 - 3 選手団の服装は、各高専で定められたものを着用する。
 - 4 開会式及び閉会式の式次第は総合的なものを想定しており、各競技の実態に合わせて変更可能とする。

6 参加資格 九州沖縄地区国立高等専門学校に在学する学生とする。

7 競技方法 競技種目別実施要項による。

8 表彰

- (1) 学校対抗（団体の部）の優勝校に優勝杯を、準優勝校に準優勝杯を授与し、1～3位入賞校に賞状を授与する。
- (2) 優勝杯及び準優勝杯は、それぞれ持廻りとする。
- (3) 前年度優勝校にレプリカを授与する。
- (4) 個人対抗（個人の部）の各種目の1～3位入賞者に賞状を授与する。

9 選手の変更

参加申込後の変更は、原則として認めない。

ただし、やむを得ない選手の変更については、監督会議において承認を得るものとする。

10 監督会議

競技種目別に定められた日時及び場所で行う。

出席者は、監督及び学生代表を原則とし、詳細は競技ごとに定める。

11. 全国大会出場資格

本大会において、次に該当するものは第58回全国大会の出場権を得るものとする。

- (1) 陸上競技及び水泳における各種目別上位男子3位、女子2位までの入賞者。

ただし、リレーは上位入賞2チームとする。

- (2) 陸上競技のこの大会における男子3位、女子2位までの入賞者は、全国高等専門学校体育大会への出場権を得ることになる。男子リレー種目は、2位までの入賞チーム、有効期間内における公認記録の全国上位8チームとする。男子は1人2種目以内（リレー種目は除く）開催校（又は開催地区）出場枠は各種目1名（1チーム）とする。女子は（3）の種目を除き2種目以内とする。

- (3) 下記の種目は標準記録を設け下記のような選出方法を行う。

- ・男子 400mH：59秒00、3000mSC：10分30秒00、棒高跳：3m50（この3種目も対校得点とする）
- ・女子 200m：28秒60、3000m：12分00秒00、100mH：17秒90、4×100mR：56秒00（この7種目も対校得点とする）
- ・男子 400mHは有効期間内の公認記録上位24名以内、3000mSCと棒高跳は16名以内とする。
- ・女子 200m、3000m、100mH、走高跳、円盤投及びやり投は有効期間内の公認記録上位16名以内とする。

- (4) 陸上競技における公認記録の有効期間について、リレー種目は令和5年4月1日から令和5年7月18日までとし、これ以外の種目については令和4年8月22日から令和5年7月18日までとする。

- (5) バスケットボール（女）、バレーボール（男）（女）、卓球（男）（女）、柔道（男）（女）、剣道（女）、バトミントン（女）、硬式野球については、それぞれの優勝チームのみとする。

- (6) バスケットボール（男）、ソフトテニス、テニス、バトミントン（男）、サッカー、ハンドボール、剣道（男）、ラグビーフットボールについては、上位入賞2チームとする。ただし、ラグビー部合同チームの参加について、全国大会への出場権は認めない。

- (7) ソフトテニスにおける個人戦は、上位入賞者男子ダブルス 3 組、女子ダブルス 2 組とする。
- (8) 卓球における個人戦は、上位入賞者男子シングルス 2 名、女子シングルス上位 2 名以内、男子ダブルス 2 組、女子ダブルス 2 組以内とする。
- (9) 柔道における個人戦は、級別上位入賞者男子 2 名、女子 3 名以内とする。
- (10) 剣道における個人戦は、上位入賞者男子 4 名以内、女子 3 名以内とする。
- (11) テニスにおける個人戦は、上位入賞者男子シングルス 2 名、女子シングルス 2 名、男子ダブルス 2 組、女子ダブルス 2 組とする。
- (12) バドミントンにおける個人戦は、上位入賞者男子シングルス 2 名、女子シングルス 2 名、男子ダブルス 2 組、女子ダブルス 2 組とする。
- (13) 開催校枠を保持している全国開催校のチーム・選手が上記規程の順位内に入った場合、バスケットボール（女）、バレーボール（女）、卓球（女）、バドミントン（女）を除いた競技については、上記規定の順位の 1 つ下の順位に入ったチーム・選手（複数該当する場合はその中から代表決定戦により選出されたチーム・選手）も、全国大会への出場権を得るものとする。
- (14) 地区代表として 1 名も選抜されなかった学校は、その学校の最も優れた選手を開催種目の個人競技種目（リレー種目を除く。）のいずれか 1 種目に、1 名又は、1 組を出場させることができる。

12. その他

- (1) 担当校は、大会の運営について競技上の事故防止等に十分配慮すること。
- (2) 担当校は、気象警報発令時及び災害発生時においては、競技参加者及び大会関係者の安全を第一として競技実施の有無その他対応について判断し、決定した内容について速やかに参加校ほか関係機関に連絡することとする。各参加校においても、学校内の連絡先を点検し、連絡体制を確立しておくこととする。
- (3) 競技中の負傷については、各担当会場校で応急処置を施すが、その後の処置は参加校で行うものとする。
- (4) 選手は、健康保険証を必ず持参すること。
- (5) 高専学生として品位と節度のある応援を行うこと。
- (6) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、別紙「感染対策法上の位置づけ変更後の基本的な感染対策について（令和 5 年 5 月 29 日付け高専連合会通知）」を遵守し、感染対策防止の最善を尽くすこと。
なお、各地域の感染状況を踏まえ、各競技において個別にガイドラインを設ける場合がある。
最新のガイドラインは、各競技担当校から参加高専に通知するものとする。

各高等専門学校長 殿

一般社団法人全国高等専門学校連合会

会長 鶴 見 智

〔公印省略〕

感染症法上の位置づけ変更後の基本的な感染対策について

日頃より本連合会の活動に対し、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症対策について、連合会では、これまで「一般社団法人全国高等専門学校連合会主催コンテスト等実施における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」及び「全国高等専門学校体育大会における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関するガイドライン」を定め、共有してまいりました。

今般、政府は5月8日付けで、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上の位置づけを従来の2類から5類（通常の季節性インフルエンザと同様）に引き下げました。その措置に伴い日常における感染対策については、主体的な選択を個人の判断に委ねることとなるため、本連合会として、従前の双方のガイドラインについては廃止することとします。

しかしながら、感染症法上の位置づけ変更後も、基本的な感染対策は重要であるため、下記に基本的な感染対策の考え方等をお示ししますので、ご確認、ご留意くださいますようお願いいたします。

1. 基本的な感染対策の考え方

①マスクの着用

- ・個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本にします。

※本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の判断が尊重されるよう
にご配慮をお願いします。

- ・基礎疾患を有する人等重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、着用が効果的な場面ではマスクの着用を推奨します。

※基礎疾患を有する人等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが感染防止対策として有効です。

②手洗い等の手指衛生、換気

- ・新型コロナウイルス感染症の特徴をふまえ、基本的感染対策として引き続き有効なため励行を推奨します。

2. 位置づけ変更後の陽性者・体調不良者の対応について

①陽性判定を受けた場合は、発症の翌日から5日間は外出を控え、症状が軽くなってから24時間程度は外出を控えてください。その上で10日間が経過するまではウイルスを排出する可能性があることから、できるだけマスクを着用し、人混みは避け、高齢者等との接触は控えることを推奨します。

②以下いずれかの目安に該当する「体調不良者」は、競技会、練習・試合等への参加を見合わせることを推奨します。

(ア) 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合。

(イ) 重症化しやすい方（基礎疾患を有する人等）で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。

(ウ) 比較的軽い風邪が続く場合。

※体調不良者は発症から数えて2日、および症状消失後より数えて3日間は活動を休み、自宅療養することを推奨します。

3. 位置づけ変更後の新たな変異株出現等への対応

位置づけ変更後にオミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現する等、科学的な前提が異なる状況になった場合、また政府が新たな変異株を感染症法上の「指定感染症」等に位置付けた上で、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、基本的対処方針に基づく要請を行った場合には、本連合会はただちに必要な対応を講じることといたします。

また、今後において感染が急拡大している時期等、状況によってはこれまでの取り組みを参考に、本連合会として再び感染対策を強化していくこともありますのでご承知おきください。

以上

参 加 校

学 校 名	住 所 ・ 電 話 番 号
久留米工業高等専門学校	久留米市小森野1-1-1 TEL 0942-35-9317
有明工業高等専門学校	大牟田市東萩尾町150 TEL 0944-53-8861
北九州工業高等専門学校	北九州市小倉南区志井5丁目20-1 TEL 093-964-7233
佐世保工業高等専門学校	佐世保市沖新町1-1 TEL 0956-34-8420
熊本高等専門学校（熊本キャンパス）	合志市須屋2659-2 TEL 096-242-6229
熊本高等専門学校（八代キャンパス）	八代市平山新町2627 TEL 0965-53-1233
大分工業高等専門学校	大分市大字牧1666 TEL 097-552-6365
都城工業高等専門学校	都城市吉尾町473-1 TEL 0986-47-1135
鹿児島工業高等専門学校	霧島市隼人町真孝1460-1 TEL 0995-42-9015
沖縄工業高等専門学校	名護市字辺野古905 TEL 0980-55-4032